

新聞紙記者の意見と云々

ついでに内書

十一月二日午未の川上操言の如き川流に
お訪の流の如き所と伝報の如き殿
勤の如き接も思ふ所の如き防の流
治の長所の如きと調合の如き人
をいふに必要の如き新聞紙

(川) 新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長

新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長

新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長

新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長

新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長

新聞紙の如き所は後世の如き
其れが如き新聞紙の如き改定者の如き
有力者有力者有力者有力者の社長



(一) 此大なり...
ヨニ先要命(書面)を致せ(肥)
多謝々々(河) 近頃、報告に改
世名に善や遠征軍に及(對)
高見ラララト特(傳)説る(善)
シ多し(牙山)ノ(露)勝(一週)内(遊)
止(シ)リト(非)難(シ)人(アリ)ト(局)ク
如何(肥) 貴内(特)ニ(御)見(ラ)速(ス)
ノ(特)會(ラ)思(フ)ハ(リ)請(フ)共(シ)ラ(思)フ
あり(求)ニ(改)進(者)ニ(始)メ(ヨ)ラ(陸)軍
ニ(西)威(觸)リ(懐)カ(ル)初(期)組
今(會)以(來)貴(内)ノ(詳)報(ル)又
今(四)ノ(露)軍(陸)軍(ハ)勿(論)海(軍)
ニ(對)シ(テ)モ(尚)且(ニ)思(ハ)ル(者)十
シ(テ)七(許)會(陸)海(軍)ニ(感)狀(ラ)
願(ハ)女(子)者(ハ)改(進)ナ(ラ)ス(ヤ)
此(中)ニ(斯)ク(後)説(ラ)ル(者)ア
ル(ヤ)ニ(知)ラ(ズ)也(口)折(々)白(や)者(者)
末(派)ノ(軍)が(尾)崎(中)ノ(後)説(ラ)
攻(撃)中(ス)者(アリ)ト(聞)ク(尾)崎(中)好
シ(テ)兵(士)ノ(後)説(ラ)カ(ル)知(ラ)ス(カ)
併(シ)キ(尾)崎(中)ノ(後)説(ラ)向(カ)ガ
シ(バ)此(モ)古(久)傳(ル)何(ラ)知(ラ)ス(改)進
者(一)國(ト)シ(テ)ハ(軍)隊(ニ)不(滿)十(年)ハ
軍(兵)ノ(進)退(リ)係(ル)ナ(カ)ラ(係)シ
ナ(カ)ラ(特)ニ(外)交(部)ノ(傷)ニ(對)シ(テ)

考之國として軍隊に不満十年ハ
軍費を歴然と保しつから保し
十から十ハ外交部に傷に對して
ハ不満十ハ能ハズ海洋貿易對諸
艦中熟練ノ傷を為しス者歐
洲中多ク人ナリ威海衛に對スル
ニ郭摩しん者上海ノ中多ク
破ハ者皆中ニ國々ノ英人ナリ
ラズヤ特ノ見ハ所ヲ以テセバ現今
外交部久々ハ新軍ノ見物又
ハ心得ニシテ人者ハ如シ不手術
ナカラニモ新陸海軍艦ス者ハ清
人トモハヨリハ寧ろ歐洲中多ク
人トモラテテラシク又君之ニ對シ
如何ク感想有ラスヤ此ナリ
ハ善カキ者知ラる也(川)外交ノ
傷ハ口ヲ云ハシ能ハズ只新ノ殊
念ニ思フハ今ニテ日軍ノ對シ
用カザリシニアリ(肥)大ニ然リ是
亦外交ニ對シ新ノ遺言策アリト
感スル所ナリ政府ハ何故ニ用新ナ
一ヨリ支那陸地ニ對シ然ルハ午
後ヲ取ラズ朝鮮對周ニ去儀
場トモシヤ特ナリハ山ノ風塵
起ルヤ否ナリ也又郡ノ界外ノ開
大伴ラ北ニ出セト呼號シ

宛カザリシニアリ(肥)大ニ其ノ是シ
亦外交ニ對シ特ノ遺送策アリト
感スル所ナリ改修ニ何故ニ南羅キ
一ヨリ支那陸地ニ對シ姑ク午
段ヲ取ラズ朝鮮國之土債
場トセシヤ特書ニ平山ノ風塵
起ルヤ否也又郡上四島ヲ圍メ
大伴ヲ北キテ出セト呼稱シ
凡政府ニ之ヲ用ヒズ二月ヨリ十月
半迄ニテ之ヲ力回ラ朝鮮王
内ニ據ビテ時々ノ長クテ陸軍
ヲ為シテ之ヲ遺送限リナシ
是ヨリ談結ぬニ移リ時々特シ
テ屏當シヨリ

此ニ書クニ其語中ノ御事多ク一人
トモ成シバキカト思ヒ談利ノ大異
ウ記ス不思御命ナシトハ自
命ノ節御披露ラセテ係
ルヨ御親記御執ニ後ハ八部廣
クテ不御見合セラセ

十月二日
肥後
氏名